

執筆者紹介（本文執筆順）

吉川仁子（よしかわ ひとこ） 奈良女子大学文学部講師。専門は日本近代文学。主要論文「芥川龍之介『玄鶴山房』考―阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して―」（『叙説』平成十四年十二月）「夏目漱石と森田草平 手紙を書く女・書かない女」（『女の手紙』双文社出版 平成十六年）「夏目漱石『明暗』論―清子らしさとは何か？―」（『明暗』論集 清子のいる風景』和泉書院 平成十九年）

弦巻克二（つるまき かつじ） 奈良女子大学名誉教授。専攻は日本近代文学。主要論文「ねむり看守」（『論集 泉鏡花第二集』有精堂ノチ和泉書院）「関東大震災と鏡花」（『ことばとことのは 第十集』和泉書院）「中島敦『北方行』管見」（『叙説』平成九年三月）他。

平瀬礼太（ひらせ れいた） 美術館学芸員。著書『講座日本美術史 6 美術を支えるもの』（共著、東京大学出版会）、『戦争と美術』（共著、国書刊行会）、『戦争のある暮らし』（共著、水声社）、『銅像受難の近代』（吉川弘文館）（第23回倫雅美術奨励賞）。『彫刻と戦争の近代』（吉川弘文館 二〇一三年）

呉谷充利（くれたに みつとし） 相愛大学人文学部教授。著書『志賀直哉、上高畑の「サロン」をめぐる考察』（創元社）『近代、あるいは建築のゆくえ』（創元社）『志賀直哉旧居の復元』（学校法人奈良学園）『中之島図書館、新たな百年の一步―歴史から学ぶこと』（明日の中之島図書館を考える会）他。

梁瀬 健（やなせ たけし） 大阪教育大学名誉教授。著作等『現代大学教育と新島精神』（新島研究六六号 一九八四年）『明治期のキリスト教教育と新発見の新島書簡について』（新島研究八二号 一九九三年）『梁瀬戈登随筆集』（近代文芸社 一九九九年）他。

橋元淳一郎（はしもと じゅんいちろう） 相愛大学人文学部教授。山口大学時間学研究所客員教授。著書『時間はどこで生まれるのか』（集英社新書）『神の仕掛けた玩具』（講談社）。日本文藝家協会、日本SF作家クラブ、日本物理学会、日本天文学会会員。

りずむ 第三号

平成二十六年三月二十五日印刷
平成二十六年三月三十日発行
定価（本体八百円＋税）

編発行者 白樺サロンの会

呉谷 充利
橋元淳一郎

事務局 〒630-8301 奈良市高畑大道町一二四七

〇七八(四五三)五五四五

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町十三

協和印刷株式会社
〇七五(三一二)四〇一〇